

鳥羽市総合教育会議会議録

会議の名称	平成27年度第1回鳥羽市総合教育会議
開催日時	平成27年7月16日(木) 10:00~11:45
開催場所	鳥羽市役所 第3委員会室
議題	1. 会議の設置について 2. 本市の教育の現状と課題について 3. 「教育の振興に関する施策の大綱」の策定について 4. 教育条件の整備等重点的に講ずべき施策について 5. その他
会議資料	【資料1-1】地方教育行政の組織及び運営に関する法律の一部を改正する法律の概要 【資料1-2】鳥羽市総合教育会議設置要綱 【資料2】本市の教育を取り巻く諸課題について 【資料3】教育に関する「大綱」について 【資料4】大規模ハード整備事業表(抜粋)
公開・非公開の別	公開
傍聴人の数	0人
出席委員	市長 木田久主一、教育長 斎藤陽二、教育委員長 大松正嗣、 教育委員 山下隆広、亀川聖子、江崎ユミ
欠席委員	なし
事務局	[鳥羽市総務課] 益田、奥村、田畑
説明員	[教育委員会事務局] 浜田、世古、榎

開会・市長あいさつ

1. 会議の設置について

事務局から、資料1-1、1-2により説明。

(質疑なし)

自己紹介。

2. 本市の教育の現状と課題について

教育長から、資料2により説明。

○委員

児童数に対して特別支援学級数が増えている要因は。

○教育長

児童ひとりひとりに目が行き届くようになり、支援の受け皿を広げてきたことによる。

○市長

統計をみると、スマホやテレビを見たりする「勉強していない時間」の多さと「成績」の相関関係がはっきりしている。鳥羽市は勉強していない時間が多く、成績が全国、県平均より下回っている。改善していけると思うがいかがか。大人になった時に、あの時は厳しかったけど、結果的に「よかったなあ」と言ってもらえるくらいのほうが、児童・生徒にとっても幸せではないのかと思う。

また、児童・生徒数が減少していることに関連して、鳥羽市では人口減対策として、定住していただくための対策に、より力を注いでいきたいと考えている。シングルマザーの移住などで、働く場所、住む場所、子育て支援を行政が手厚くサポートしていくことで、定住の促進を図っていきたい。子どもの数も増えると思っている。

○教育委員長

「3つの約束」という文書を出しており、午後9時以降のスマホ自粛を提言しているものの、各家庭で

の取り組みは様々であると思う。

○委員

三進連のテストがなくなり、客観的に自分の位置を確認できる統一的なテストがなくなった。どこに進学するかを目安になったが、これからはどうやって対応していくのか。

○教育長

それに代わるものはあるが、このテストを受けるには料金も発生するので、回数等を含めて各校に委ねている。これを受ければある程度の目安はつかめる。

3. 「教育の振興に関する施策の大綱」の策定について

事務局から、資料3により説明。大綱の策定については、本年教育委員会で策定している「教育振興基本計画」の概要を確認しながら内容を協議して大綱を策定することで、大筋の合意を得た。今後当該計画の進捗状況を報告してもらいながら、大綱の策定を進めていく。

○教育長

教育振興基本計画については、夏休み中に骨子をまとめ、年内をめどに案を策定し、その後パブリックコメントを予定。

4. 教育条件の整備等重点的に講ずべき施策について

市企画財政課より、教育の振興に関わる大規模ハード事業について、鳥羽市総合計画実施計画より抜粋した資料4で説明。

5. その他

○教育委員長・教育委員

教育委員会の中で話をすべきかもしれないが、いろいろとあるので意見交換させていただく。集団の中で身につけるべき力を養うために「義務教育学校制度」の検討や、学校教育の中で郷土愛を醸成する教育をさらに推奨する、貧困家庭の児童・生徒対策などもあるがどうか。

○市長

すべての学校で一斉にそういった取り組みを進めるのは非常に難しいので、例えばこちらでスマホの時間的制限を加えるモデル校のような取り組みをすることにより成功体験を積み、その取り組みに賛同する家庭・学校を増やして波及させていくことも考えられる。ラインでの友達づきあいなども大変なようなので、勉強の時間を確保できるよう助けてあげないといけないのではないか。次世代がしっかり学べる環境を作っていくやり方をいろいろと実践していくべきだと考える。

最後に、事務局より次回の会議予定の説明があり、会議を終了した。